

全国コミュニティ・スクール研究大会 in 京都

地域とともにある学校づくり推進フォーラム2026 京都

学びの輪、地域の輪、未来へ繋ぐ



参加無料
FREE ENTRY

コミュニティ・スクールへの挑戦

地域の活力の好循環を生み出す

学校を核とした子どもの成長と

学校をひらく。共創の場へ。

2026年

11月14日(土) 10:00-16:00

会場

国立京都国際会館

〒606-0001 京都府京都市左京区岩倉大鷲町422

アクセス

- ・地下鉄烏丸線「国際会館駅」から徒歩5分
- ・京都市バス・京都バス「国際会館駅前」から徒歩5分

定員

分科会1 / 120名 分科会2 / 80名
分科会3 / 180名 分科会4 / 120名

※定員になり次第締め切ります(先着順)

学校管理職・教職員、行政職員、学校運営協議会委員、
地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター、学校評議員、
学校支援ボランティア、保護者、地域住民・自治会・PTA・企業団体等の
活動に関わる全ての方

申込締切

11月9日(月)

〈主催〉全国コミュニティ・スクール連絡協議会、文部科学省、京都市教育委員会

オンライン参加可

参加申込は
こちらから



PROGRAM

学校をひらく。共創の場へ。

全国でコミュニティ・スクールの導入が進み、地域と学校が連携・協働する体制整備が広がる一方、取組の形骸化や担い手不足、学校統廃合などの課題も顕在化しています。こうした中、子どもの成長と地域の活力の好循環を図るため、地域・学校による「共創」の場として、コミュニティ・スクールの役割は重要性を増しています。京都市では、「地域の子どもは地域で育てる」の理念の下、法制化以前から取組を進め、新たに「学校の中に、まちをつくる。」をキーワードに、学校を核とした大人も子どもも学び合う地域づくりを推進しています。本大会では、全国の先進事例や京都市の実践を踏まえ、コミュニティ・スクールの次なるステージ「学校をひらいた、その先」を展望し、次の一手をともに探ります。

10:00~10:15

オープニングパフォーマンス

Main Hall

○ 能楽「大連吟」

京都能楽会所属の能楽師の皆様+小・中学生

能楽師 松野 浩行氏による指導の下、「謡」の稽古に取り組んだ小・中学生が、能楽師と共に、「謡「高砂」」を披露します。



10:15~10:35

開会式

Main Hall

○ 主催者代表挨拶

○ 来賓代表挨拶・紹介



10:35~10:50

行政説明

Main Hall

○ 文部科学省地域学習推進課

10:55~12:20

パネルディスカッション

Main Hall

テーマ 学校をひらいた先に、何が生まれるのか。
— 共創で生み出す子どもの成長と地域の活力の好循環 —

パネリスト



石井 英真
京都大学教授・京都市教育委員



南郷 市兵
福島県立いわき総合高等学校校長



平岩 国泰
放課後NPOアフタースクール
代表理事



稲田 新吾
京都市教育長・全国コミュニティ・スクール
連絡協議会会長

12:20~13:20

昼休憩

昼食は、各自、持ち込みいただくか、席が限られておりますが、館内レストラン(事前予約不可・100席程度)がございます。
なお、持ち込みの場合は、Main Hallのみ飲食可能です。

13:20~15:30 (共通)

分科会 1

Room E

定員 120名

テーマ 学校を核とした「子どもの成長」と「地域の活力」の好循環を生み出すために
—「コミュニティ・スクール」から「スクール・コミュニティ」へ—
発表者 京都市立安朱小学校 校長／河野 由佳
和歌山県橋本市教育委員会 教育長／今田 実
助言者 文部科学省CSマイスター(ゆめ☆まなびネット代表)／大谷 裕美子

分科会 2

Room C-2

定員 80名

テーマ 若年世代とともに進めるコミュニティ・スクールの推進
一次世代への貢献の循環をつくる—
発表者 CSユースリーダー・京都市教育委員会



分科会 3

Room D

定員 180名

テーマ 形骸化からの脱却
—コミュニティ・スクールの本質に立ち返って学校運営を考える—

発表者

[熟議]

・京都市立新町小学校
校長／岸本 直樹
学校運営協議会 会長／森 徹
創立30周年記念事業実行委員会 委員長／藤原 信生
・門真市立水桜学園
校長／鈴木 貴雄
[当事者意識]・京都市立西総合支援学校
校長／清水 美穂子
・京都府立北稜高等学校
校長／竹林 祥子



[働き方改革]

・京都市立常磐野小学校 校長／小西 英生
・三鷹市教育委員会地域学校協働課 課長／越 政樹
三鷹市統括スクール・コミュニティ推進員／倉田 清子

助言者 文部科学省CSマイスター(愛知教育大学教授)／風岡 治

分科会 4

Room B-1

定員 120名

テーマ 学校統合を地域の力に変える
—コミュニティ・スクールが創る新しい学びと地域の未来—

発表者

京都市立開晴小中学校 校長／上野 政弘
高知市立義務教育学校土佐山学舎 校長／福井 佳織

助言者 文部科学省CSマイスター(大阪府千早赤阪村教育長)／大門 和喜

15:40~16:00

閉会式

Main Hall

- ・万が一の事情により、イベントが中止またはプログラム内容が変更となる場合は、大会公式HP等にてお知らせします。
- ・本大会の様子を撮影・録画・配信しますので、予めご了承ください。
- ・ご来場の際は、公共交通機関等をご利用いただきますようお願いいたします。会場周辺の駐車スペースには限りがありますので、ご協力をお願いします。

連日開催 『小中一貫教育全国サミット in 京都』

日程

2026年 11月13日(金)

会場

京都市立東山泉小中学校、
京都市立桃陵中学校+伏見南浜小学校

テーマ

つながりが育む、可能性を最大限に伸ばす学び
～学びの主体は子ども～



大会公式HP

お問い合わせ

全国コミュニティ・スクール研究大会 in 京都 事務局

電話: 075-251-0456 メールアドレス: gakkochiiki@edu.city.kyoto.jp

後援

全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県教育委員会連合会、全国市町村教育委員会連合会、指定都市教育委員会協議会、全国都市教育長協議会、中核市教育長会、全国町村教育長会、公益社団法人日本PTA全国協議会、一般社団法人全国高等学校PTA連合会、公益社団法人全国子ども会連合会、京都府教育委員会、京都市PTA連絡協議会

大会の詳細はこちら

後日、大会の様子をまとめたアーカイブ動画についても、公開予定です。

大会公式HP▶

